



あいかわ 議会だより

第 154 号

平成29年7月15日発行

責任者 議会議長 小島 総一郎
年4回発行・本号12ページ



表紙の写真：三増の獅子舞（平成28年）

一般質問に12名の議員が登場

P4

町民と議会との意見交換会を実施

P10

愛川町議会基本条例の一部改正条例を可決

P2

※町議会では議会だよりに使用する写真を募集しています。
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

〈第2回6月定例会〉

平成29年第2回愛川町議会「6月定例会」が6月1日から14日まで(本会議開催日4日間)の会期で開催されました。

この定例会では、町長提出議案である専決処分承認2件、条例議案1件、事件議案6件を審議し、全議案を可決しました。
また、請願2件の審議をするともに、議員提出議案1件を可決しました。

本号では、これら「6月定例会」の内容を中心にお知らせいたします。



平成29年第2回6月定例会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
6	1	木	本会議	請願の所管常任委員会への付託、専決処分の承認、町長提出議案の説明、繰越明許費繰越計算書の報告、水道事業会計予算繰越計算書の報告
	5	月	本会議	一般質問(6人)
	6	火	本会議	一般質問(6人)
	8	木	総務建設常任委員会	付託案件の審査 所管事務調査
	9	金	教育民生常任委員会	付託案件の審査 所管事務調査
	14	水	本会議	町長提出議案の総括質疑・討論・採決、付託案件の委員長報告・質疑・討論・採決、町長提出議案及び議員提出議案の説明・質疑・討論・採決

議員提出議案

◎愛川町議会基本条例の一部改正 (賛成全員)

愛川町議会基本条例第20条の規定に基づき、条例の目的が達成され、また、正しく運用されているかどうかについて検証及び見直しを行った結果、町民の参加を基本とする「開かれた議会」を実現するためには、議員が自ら政治倫理を高め、町民と議会との信頼関係を確立することが必要となることから、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

◎愛川町国民健康保険税条例の一部改正 (賛成全員)

「地方税法施行令」の一部改正に伴い、低所得者の軽減措置の対象を拡大するため、5割軽減及び2割軽減の対象世帯に係る軽減判定所得の基準の見直しが行われたことから、所要の改正を行った専決処分を承認したものです。

【施行期日】平成29年4月1日

◎愛川町消防団員等公務災害補償条例の一部改正 (賛成全員)

専決処分の承認

◎愛川町個人情報保護条例の一部改正 (賛成12人、反対3人)

「非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令」に定める補償基礎額の加算額等については、「一般職の職員の給与に関する法律」で定められた規定と異なるため、先般、配偶者に係る扶養手当を引き下げ、子に係る扶養手当を引き上げる改正が行われたことに伴い、基準政令で定める補償基礎額の加算額等が変更されたため、所要の改正を行った専決処分を承認したものです。

【施行期日】平成29年4月1日

条例議案

◎愛川町個人情報保護条例の一部改正 (賛成12人、反対3人)

「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」の一部改正に伴い、地方公共団体が行う独自利用事務における情報連携を行うにあたり、本条例で引用する同法の条項の整理等が行われたため、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

【施行期日】公布の日

事件議案

■工事請負契約の締結

◎平成29年度坂本児童館建設工事(建築) (賛成全員)

請負契約金額 6千404万4千円
工事場所 旧坂本プール跡地
請負契約の相手方 木下建設株式会社
工期 本契約締結の日から平成30年3月23日まで

■財産の取得

◎高規格救急車購入 (賛成全員)

取得価格(1台・税込) 1千999万9千440円

納入期限 平成30年1月30日

◎高規格救急車救急資器材購入 (賛成全員)

取得価格(車両取付品5点 装備品25点・税込) 1千560万6千円

納入者 神奈川トヨタ自動車株式会社 直販部

納入期限 平成29年11月30日

◎消防団用小型動力ポンプ付積載車購入 (賛成全員)

取得価格(2台・税込) 2千214万円

納入者 日本機械工業株式会社

本社営業部
 納入期限 平成30年1月30日
 ◎第1号公園体育館バスケットゴール台購入 (賛成全員)
 取得価格 (1組・税込) 815万4千円
 納入者 有限会社 イシケンスポーツ本店
 納入期限 平成29年10月31日
 ■損害賠償額の決定
 ◎交通事故に係る損害賠償 (賛成全員)
 角田地内の県道511号(太井・上依知線)において、公用車両が渋滞による発進・停止を繰り返していた状況の中で、不注意により、前方車両の後方に追突し、相手方車両の後部及び、運転手に損害を与えたため、本町の義務に属する損害賠償の額を定めるものです。
 損害賠償額 150万7千796円

会派 議決一覧表(平成29年第2回(6月)定例会)

※議長は表決には加わりません。 各会派賛否 ○…賛成、●…反対、除…除斥

議案番号	議案の件名	愛政クラブ	公明党	みらい絆	共産党	新風あいかわ	議決結果
		小倉議員 馬場議員 山中議員 熊坂弘久議員	井出議員 佐藤りえ議員 岸上議員	熊坂崇徳議員 小島議員 木下議員	小林議員 井上議員 鈴木議員	渡辺議員 佐藤茂議員 阿部議員	
議員提出第1号	愛川町議会基本条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	可決
町長提出第21号	専決処分の承認について(愛川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)	○	○	○	○	○	承認
議員提出第22号	専決処分の承認について(愛川町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について)	○	○	○	○	○	承認
町長提出第23号	愛川町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	●	○	可決
町長提出第24号	工事請負契約の締結について(平成29年度坂本児童館建設工事(建築))	○	○	○除	○	○	可決
町長提出第25号	財産の取得について(高規格救急車購入)	○	○	○	○	○	可決
町長提出第26号	財産の取得について(高規格救急車救急資器材購入)	○	○	○	○	○	可決
町長提出第27号	財産の取得について(消防団用小型動力ポンプ付積載車購入)	○	○	○	○	○	可決
町長提出第28号	財産の取得について(第1号公園体育館バスケットゴール台購入)	○	○	○	○	○	可決
町長提出第29号	損害賠償額の決定について(交通事故に係る損害賠償)	○	○	○	○	○	可決
請願第1号	「所得税法第56条の廃止を求める意見書」を国に提出することを求める請願	●	●	●	○	●	不採択
請願第2号	年金隔月支給を毎月支給に改めることを求める請願	●	●	●	○	●	不採択

※「除斥」とは、事件議案等に直接の利害関係がある議員が、地方自治法第117条の規定により、その議事に参与できないことです。

【請願】

件名	請願者	付託先	審査結果
「所得税法第56条の廃止を求める意見書」を国に提出することを求める請願	厚木市元町8-22 厚木民主商工会 厚木民主商工会婦人部 代表 中山 光子	総務建設 常任委員会	不採択
年金隔月支給を毎月支給に改めることを求める請願	愛川町中津75-2 全日本年金者組合神奈川県本部 愛川年金者の会 会長 勝又 荘蔵	教育民生 常任委員会	不採択

【陳情】

件名	陳情者	付託先	審査結果
神奈川県最低賃金改定等に関する意見書を国に提出することを求める陳情	厚木市旭町1-9-18 志澤ビル3F 日本労働組合総連合会神奈川県連合会 厚木愛甲地域連合 議長 北原 武	-	机上配付

請願・陳情のゆくえ

こいは どろぼうの

一般質問



拠点づくり構想 提案書から反映

井上 博明議員

問 半原地域における観光・産業連携拠点づくり構想について、愛川地区まちづくり協議会から提出された「提案書」の構想、づくりへの反映の状況を伺います。

協議会の11項目 思いを受けとめ

町長 愛川地区まちづくり協議会で取りまとめられた「提案書」は、11項目にわたっており、ご提案をいただきましたすべについて協議会皆さんの思いをしっかりと受けとめ、構想に反映できたものと考えています。

交通弱者の支援 要望への事業策

問 交通弱者への支援事業で、循環バスの運行コースの変更や便数を増やしてほしいなど、様々な支援を求める要望が出されています。そこで、今後の支援事業の取り組みについて伺います。

必要性は認識 課題の解決に

町長 本町では以前より、生活交通の維持確保や充実に努めてきたところですが、これからの時代、交通弱者への支援方策の必要性は認識していただいている限り交通事業者や関係機関と連携し、課題解決に向けて、しっかりと取り組んでいきたいと考えています。

乳がんの検診 今後の取り組み

岸上 敦子議員

問 乳がん検診の今後の取り組みについて伺います。

受診環境の整備 有効性など周知

町長 受診環境の整備とあわせ、広報紙やホームページへの掲載、各種イベントにおけるPRなど、あらゆる機会を捉え、乳がん検診の大切さや有効性について周知を図り、さらなる受診率の向上に努めながら、早期発見、早期治療につなげていきたいと考えています。



乳がん検診を受けましょう

「子育て世代包括支援センター」 設置と切れ目ない支援

問 妊娠、出産、育児への切れ目ない支援及び、子育て世代包括支援センター（日本版ネウボラ）を設置する考えについて伺います。

情報収集に努める 要望に適した体制

町長 現状では、関係各課との連携を密にしながら、様々な取り組みにより、妊娠期から子育て期に渡る切れ目ない支援

に努めています。支援を通じて培ってきた知識経験を踏まえ、安心して産み育てられる環境づくりに資するよう、国・県等の関係機関が発信する情報の収集に努めながら、本町の支援ニーズに適した体制整備のあり方にも考慮しつつ、現在「子育て世代包括支援センター」の設置に向けて検討を進めているところです。



総務部長 現行の町内循環バスの運行を継続することが持続可能な公共交通網の形成につながるものと捉えています。現時点において、循環バスを廃止してデマンドタクシーを導入することについては考えていません。

現行体制を継続 導入の考えなし

問 高齢者などの移動困難者の外出支援として町内循環バスを廃止し、ドア・ツー・ドアであるデマンドタクシーを導入する考えについて伺います。

移動困難者の支援 デマンドタクシー



渡辺 基議員



茨城県神栖市のデマンドタクシー

出席状況等を勘案 柔軟な対応に努力

問 町は仕事を持ちながら子育てできる環境の整備を行うとされていますが、保留児童が依然としてゼロになりません。そこで、放課後児童クラブの保留児童対策について伺います。

放課後児童クラブ保留児童対策

教育長 本年度より、小学6年生まで対象児童を引き上げたところ、年度当初の入所保留児童は48人となりましたが、入所審査にあたっては、昨年度の出席状況などを勘案し、入所決定児童数を増やすなど、柔軟な対応に努めています。
〈その他の質問事項〉
防災・減災対策について

町長 過去5年間では年間125万人前後の観光客数です。本年5月にNHKで宮ヶ瀬ダムの特集が放送され、翌日は過去最高の観光客数となりました。経済効果の算出は困難ですが、今後も積極的な取り組みを進めていきたいと考えています。

年125万人前後 波及の算出は困難

問 本町には町外から年間100万人を超える観光客が訪れています。観光客の推移と経済効果について伺います。

町外からの観光客 推移と経済効果は



小倉 英嗣議員

町長 農業の担い手確保に向けては、新規就農者に対する助成等で徐々に効果が得られているものと認識しています。

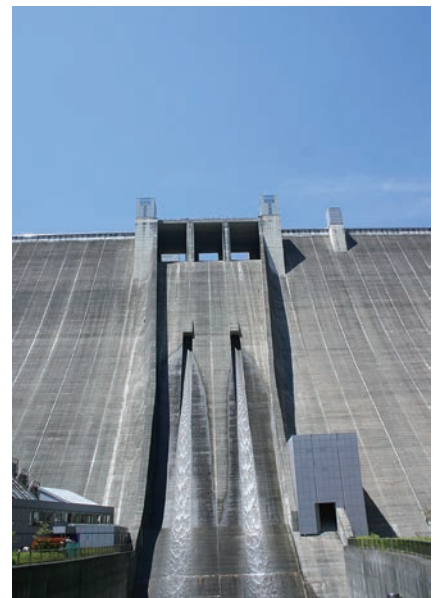
シニア層にも期待 環境整備に努める

問 本町の農業は担い手不足により遊休農地が年々増えています。定年世代のシニア層の方々に従事していただくことについて考えを伺います。
また、本町における農地取得に係る下限面積について伺います。

遊休農地解消に定年世代

新たな担い手として勤労意欲のあるシニア層の方々に一翼を担っていただけることを期待していることから、環境整備に努めていきたいと考えています。

農業委員会事務局長 本町における農地取得に係る下限面積については、高峰地区が30アールで、愛川・中津地区が20アールとなっています。
〈その他の質問事項〉
地域資源としてのジビエの活用について



NHKで特集された宮ヶ瀬ダム



スクールバス 中学への導入

山中 正樹議員

問 町内には起伏が激しく、集落が点在する箇所もあり、教育環境の観点から課題を抱えています。スクールバスを中学校へ導入する考えを伺います。

自転車通学の範囲 現時点で必要なし

町長 本町での最長登校距離は約3.5kmですが、自転車通学等を認めています。スクールバスについては、小中学校統廃合の場合等は検討することも考えられますが、現時点では必要ないものと認識しています。

郷土研究資料の蓄積継承

問 郷土資料館が開館して丸8年。準備期間を含め郷土研究史は30年近く経過しています。学芸員職の採用からも20年以上が経ち、世代交代の時期です。研究の蓄積と、成果の今後の継承について伺います。

**歴史的事実明らかに
学芸員の専門性活用**
教育長 数多くの貴重な資料寄贈を受け、相模陸軍飛行場等の歴史的事実



これまでの研究成果の継承が必要

を明らかにできました。また、学芸員の調査活動等により、植物・昆虫などの収集等を行い、中津層群約300万年前の地層から産出した約1300点の貝の化石の収集などを行っています。こうした調査は長期に地道に進めることが必要です。

今後とも学芸員の専門性を活かし、研究成果の継承をしていく必要があると考えています。



準要保護児童へも 入学前の学用品費

佐藤 りえ議員

問 国では、ランドセル購入など小学校入学前の支給を可能とする交付要綱の改正を行いました。準要保護児童は対象になっていません。平成30年度から実施できるような準備することが重要ですが、町の考えを伺います。

総合的な判断構築 適した支給を研究

教育長 入学前の支給に関し、総合的な判断方法をどう構築していくか等の課題があります。本町に適した支給を研究していきたいと考えています。



防災訓練 男女双方の視点に配慮

女性視点に立つ防災対策

問 ここ数年の大災害を教訓に、女性の視点に立った対策が各地で進み始めています。本町における女性の視点での防災対策の取り組み状況について伺います。

独自の目線必要 防災意識の啓発

町長 避難者のプライバシーの確保や男女のニーズの違い等を考慮

し、男女双方の視点に配慮した避難対策や備蓄食料等の整備を推進していきます。

今後とも社会の変化に柔軟に対応し、女性独自の目線・視点の必要性に鑑み、機会あるごとに女性の参加を促し、より多くの町民が防災意識の啓発・高揚ができるよう努めていきたいと考えています。

**新ハザードマップ
避難訓練取り組む**

町長 今年度改訂する「洪水ハザードマップ」を活用し、新たに想定区域となった田代区等の地域における避難訓練の実施についても取り組んでいきたいと考えています。

問 3月末に県から公表された「洪水浸水想定区域」や「家屋倒壊等氾濫想定区域」に、新たに含まれる田代区や、角田区戸倉の洪水浸水対策及び避難対策について町の考えを伺います。

**「洪水浸水想定区域」
田代・戸倉の対策**



阿部 隆之議員



田代地区等の洪水浸水対策を

**電子と紙が混在
費用対効果懸念**

町長 電子決裁システムの導入については、電子の導入の部分と紙保存の部分

問 電子決裁システムを導入することで、ペーパーレス化による書庫スペースの削減や、決裁を持ち回る時間の削減による行政事務の効率化が見込めます。そこで、電子決裁システムの導入について町の考えを伺います。

電子決裁システムの導入

分が混在することや、システムの導入に要する経費と事務量や保存文書の削減が図れるか否かといった費用対効果の面で懸念があること、その場で職員に確認ができ、意思の疎通を図った上で、よりミスマッチの少ない決裁ができるものと考えていることから、現時点においては、電子決裁システムを導入する考えはありません。

**現時点で考えなし
提案制度等PR**

町長 「わたしの提案」制度等を若い世代の方に對し、幅広くPRに努めるとともに、様々な場で若者と交流していきたいと考えていることから、現時点では導入は考えていません。

問 「若者議会」は、主権者教育を実践しています。こうしたことは将来、町の発展にとって大きな力になると思っています。本町への導入の考えを伺います。

**「若者議会」
導入の考え**



鈴木 信一議員

**危険性の認識ある
事業者等と協議**

町長 「怖い思いをする。」と言われている。関係機関への働きかけをすべきと考えますが、町の考えについて伺います。

町長 現時点では、事業化の見通しは定まっていない状況ですが、路線バス利用者の安全性の向上に向けて、路線バス事業者や、道路管理者などと協議・調整を行っていききたいと考えています。

問 厚木市方面への「坂本入口バス停」の安全対策を求める声があります。特に雨の日は傘をさしてバスを待っていると目の前を大型車両が通り過ぎるので「怖い思いをする。」

坂本入口バス停安全対策

町長 バス停付近には歩道がなく、右側に緩やかにカーブしているため利用者にとっては危険と感じる部分もあると思われる。



「坂本入口」バス停の現状

**有機農産物普及
食の安全推進**



小林 敬子議員

問 有機農産物の普及について、食の安全や安心を推進する農業に関する、町の考えを伺います。

**栽培記録の表示
付加価値つける**

農政課長 食の安全や安心を推進する農業については、栽培記録を表示するなど、消費者の方にもわかりやすく、かつ、付加価値をつけて販売できるように方法を研究する必要がありますと考えています。

職員の労働実態把握と指導

問 管理職の主幹・副主幹級職員の仕事実態の把握について、また、一般職員の時間外勤務は1日何時間を目安に指導しているのか伺います。

**一般職の時間外
1日4時間限度**

総務課長 主幹・副主幹級の職員については各課における班のリーダーと

して、所管事務の統括や議会対応などの事務を担うことから、自らの職務を遂行するために必要に応じて時間外勤務を行っていることは把握しています。

また、時間外勤務については、1日4時間を限度に、午後9時半までには退庁するよう指導しています。



有機農産物の安全と普及

**「ふるさと納税」
返礼品贈呈1年
納税した理由は**



木下 眞樹子議員

問 ふるさと納税への返礼品贈呈を開始して1年が経ちました。本町へふるさと納税していただいた方々の、納税したいと思われた理由について伺います。

**気持ち添えた事例
応援したい思い**

町長 「愛川町の自然が大好きです。役立ててくださーい」という具体的な気持ちを添えた事例もあり、本町にゆかりのある方が、応援をしたいという思いから、納税されているものと捉えています。

「愛が2つある町」
神奈川県愛甲郡愛川町
ふるさと納税はじめました。

多くの方からの納税がありました

移住・観光促す町外PR

問 これまで、シティセールスを推進するため、移住・定住パンフレット等を作成されましたが、それらはいかに町内外へ発信していくかが重要です。本町への移住や観光客を促すため、町外へ出向いて行っているPR活動について伺います。

**各種イベント活動
年20回以上参加**

町長 県が主催する「神奈川県移住セミナー」に

参加し、来場された方々に対して本町の特長や住みやすさなどに関するプレゼンテーション、移住相談などを行いました。また、「群馬・神奈川県共同観光キャンペーン」をはじめとする各種の観光PRイベントに年20回以上参加するなど、町のPR活動に努めています。

〈その他の質問事項〉
売店「希望（のぞみ）」の設置について

町長 農業従事者の減少により、農家の空き家があることも認識しています。「空き家バンク制度」を活用するとともに、農地転用では転用業者に対し近隣に配慮するよう依頼するなど、引き続き対策に努めていきたいと考えています。

空き家、環境景観 転用は近隣に配慮

問 本町の市街化調整区域では、農家の空き家問題や農地転用による資材置場の増加など様々な問題があります。対策について町の考えを伺います。

市街化調整区域 農地問題の対策



佐藤 茂議員



「空き家バンク」に登録されている空き家

町長 今回の改訂のポイントは、知識の理解の質を高め資質・能力を育む「主体的・対話的で深

事務作業の効率化 業務緩和を進める

む「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善や、小学5・6年生での「外国語科」の導入による教育内容の改善などが挙げられています。授業時間数の増加や、新しい授業方法の習得などに、さらなる多忙化が懸念されていますが、専門知識を有した人材を各学校に派遣し、事務作業の効率化、ネットワーク構築など業務緩和に向けた取り組みを進めているところです。

問 新学習指導要領の公示がありました。学習指導の多様化により、教員の負担増が懸念されます。教員の多忙化解消に向けた取り組みについて伺います。

教員多忙化解消への取組

い学び」に向けた授業改善や、小学5・6年生での「外国語科」の導入による教育内容の改善などが挙げられています。授業時間数の増加や、新しい授業方法の習得などに、さらなる多忙化が懸念されていますが、専門知識を有した人材を各学校に派遣し、事務作業の効率化、ネットワーク構築など業務緩和に向けた取り組みを進めているところです。

町長 現在、5市町村を周回するスタンプラリーと水源通行手形事業に参加しており、今年度新設する「三増合戦史跡めぐりコース」では、町学芸員が解説しながら巡る歴史散策を実施予定です。

問 毎年、多くのハイカーの方が本町のハイキングコースを訪れています。そこで、ハイキングコースでのスタンプラリー等の集客が見込めるイベントの開催の考えについて伺います。

ハイキングコース イベント等の開催



熊坂 崇徳議員

スタンプラリー

歴史散策実施予定

町長 募集にあたっては、年齢要件を緩和し、門戸を広げることにより、即戦力となれる30歳前半の社会人経験者など、より効果的な人材の確保につなげていきたいと考えていることから、今回の試験では、一般事務職・保健師ともに募集年齢の上限を引き上げたものです。

問 今年10月採用予定の一般事務職員と保健師の資格要件のうち、募集対象年齢を見ると、これまでは主に30歳以下を対象としていましたが、今回の募集では一般事務職が35歳以下で、保健師が40歳以下と採用年齢が引き上げられた理由について伺います。

今年10月職員募集の要件



歴史散策で新しい発見（三増合戦碑）

社会人経験者など

効果的人材の確保

町長 募集にあたっては、年齢要件を緩和し、門戸を広げることにより、即戦力となれる30歳前半の社会人経験者など、より効果的な人材の確保につなげていきたいと考えていることから、今回の試験では、一般事務職・保健師ともに募集年齢の上限を引き上げたものです。

＜その他の質問事項＞
消防団及び救急隊員の規律について

個人総括質疑

6月14日の本会議では、条例及び事件議案に

対し、小林敬子議員、井上博明議員、鈴木信一議員、佐藤りえ議員、熊坂崇徳議員、山中正樹議員、渡辺基議員が質疑を行いました。内容の一部を紹介します。

〈条例関係〉

○愛川町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定

・今回の改正に伴い、想定している事例について

〈事件関係〉

○平成29年度坂本児童館建設工事（建築）（工事請負契約の締結）

- ・落札率について
- ・予定価格について
- ・駐車場の確保について
- ・地元自治会の要望の反映について
- ・今後のタイムスケジュールについて

○高規格救急車購入

・更新の理由について

・応札業者の最高価格について

○高規格救急車救急資器材購入

・今回の更新における新たな装備品について

○消防団用小型動力ポンプ付積載車購入

・今回、オートマチック車2台の購入となっているが、マニュアル車とオートマチック車1台あたりの金額の差異について

・オートマチック車への変更に伴う消防団との意見調整について

○第1号公園体育館バスケットゴール台購入

- ・安全性について
- ・耐用年数について
- ・利用状況について
- ・安全管理体制について

意見交換会を実施

町議会では「町民に開かれた議会」を推進するため、町民の方との意見交換会を実施しました。大勢のご参加のもと、貴重なご意見、ご提案をいただきました。ありがとうございました。

町民との意見交換会

開催実績及び内容

5月13日（土）

町文化会館 34人参加

〈テーマ〉

・「前年度（平成28年度）の意見、要望等への対応」

・「意見交換」



No.	意見・要望等要旨	当日の回答
1	意見・要望書は「検討すること」ではなく、具体的な回答を得られるようなものにしていただきたい。	今後は「検討すること」ではなく、出来る限り具体的な回答が得られるような意見・要望書を町へ提出します。
2	自治会への加入者が毎年減少している問題について、議会では加入率向上の対策をどのように考えているのか。	自治会によっては、アルミ缶回収による売上げを見込み、高齢者の自治会費を減免するなどの工夫をして加入率の向上に努めています。また、昨年実施しました「加入促進月間」の結果を検証することにより、新たな方策に取り組むなど、引き続き、自治会・行政・議会が一体となった対策が重要であると考えています。
3	平成29年度当初予算では、町税の収入が昨年度比較で大幅に減少しているが、議会ではどのような審議がされたのか。	海外の社会経済情勢を要因として、町内の一部大手企業の業績が低迷したとの説明がありました。法人税については、景気の動向の影響を大きく受けますので、なかなか予測できない部分もあります。
4	農業所得向上の観点から、地産地消を推進していただきたい。	議会でも、地産地消については一般質問等を通して町に要望しています。今後も、多くの公共施設で地元の野菜等を使用できるよう、地産地消の推進について取り組んでいきます。
5	農業の後継者を育てる対策について	農業の後継者が減少していく中、町ではその対策の一つとして新規就農者の受け入れを推進し、担い手の確保に努めています。
6	買い物弱者対策として、コピオの敷地内に町内循環バスのバス停を設置できないか。	議会でも、買い物弱者対策としてデマンド交通等の研究を進めています。ご質問のバス停の設置については町側に要請をします。
7	町のPRのため、町独自の原動機付自転車オリジナルナンバープレートを作成したらどうか。	現在、町でも愛川ブランドの認定や町のPR動画の作成などの様々なシティーセールスを行っていますので、ご質問のナンバープレートの作成についても町側に要請をします。
8	産業廃棄物処理業者の進出により、資材置場等が増加している傾向が見受けられます。環境や景観の点からも町独自の条例を制定し、これを規制することはできないか。	現在は、県にその権限があるため、県が許可したものに対して町は規制することができませんので、議会でも今後の対応策について研究していきます。
9	議員の年間報酬額等を教えてください。	「愛川町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例」の規定により、議長は月額44万5千円、副議長は月額37万2千円、議員は月額34万円となっています。また、このほかに期末手当（6月期及び12月期）、政務活動費（月額1万円）、費用弁償（出張した際の旅費等の実費）が支給されています。
10	1号公園近辺にタバコがポイ捨てされている状況が見受けられますが、取り締まる方法はありませんか。	自治体によっては「タバコポイ捨て条例」などにより、指導員による取締りを行っている事例もありますが、本町の「みんなで守る環境美化のまち条例」では罰則規定はありませんので、今の段階では難しいと思います。

※このほかにも、たくさんのご意見・ご要望をいただいております。詳細については町ホームページをご覧ください。
 ※皆様からいただきましたご意見等は、内容を精査し、必要に応じて町へ要望してまいります。

平成28年度政務活動費収支報告

政務活動費は、地方自治法や町議会政務活動費の交付に関する条例の規定に基づき、議員の調査研究に必要な経費の一部として、各会派又は会派に所属しない議員に対し交付されるもので、交付額は、議員1人あたり月額1万円（年額12万円）ですが、残額が生じた場合は、返金しています。



各会派から提出された平成28年度分の政務活動費交付金の収支報告は、次のとおりです。

また、愛川町議会基本条例第5条第4項で「会派は、政務活動を積極的に行い、議会活動の活性化に努めなければならない」と規定されており、議会の審議の充実と活性化を図ることを目的に、積極的に先進市町村への視察実施や研修参加、広報活動等を行っています。その一部をご紹介します。

(円)

会派名	愛政クラブ	公明党	みらい絆	日本共産党 愛川町議員団	新風あいかわ	合計
所属議員数	4人	3人	3人	3人	3人	
交付額	480,000	360,000	360,000	360,000	360,000	1,920,000
政務活動の実経費	490,513	414,884	375,526	327,581	373,830	1,982,334

■政務活動行政視察・研修の内容

会派名	視察・研修先	内 容
愛政クラブ	北海道三笠市 北海道苫小牧市 北海道千歳市	<ul style="list-style-type: none"> 「バイオマスタウン構想」について 苫小牧市まちなか再生総合プロジェクトについて 千歳市防災学習交流センター「そなえる」について
	福岡県筑紫野市 福岡県太宰府市 福岡県糟屋郡久山町	<ul style="list-style-type: none"> 3者共同によるごみ減量の取り組みについて 太宰府市子ども・子育て支援事業計画について 健康づくり推進事業（九州大学との共同事業）について
公明党	富山県富山市	<ul style="list-style-type: none"> 富山市立図書館「キラリ」の運営について お迎え型体調不良児保育事業について 富山型デイサービスについて 芝園小学校におけるICT教育について 小中学校一貫的連携教育について 
	財政基礎講座	よくわかる市町村財政分析
	市町村議会議員特別セミナー	自治体経営の課題
	第8回生活保護問題議員研修会 地方政治研究実践講座	<ul style="list-style-type: none"> 貧困の連鎖を断ち切るために生活保護を考える講演 新年度、2025年問題、働き方改革 ほか
みらい絆	山口県岩国市 山口県熊毛郡平生町 山口県熊毛郡田布施町	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティ・スクール推進事業について アイ・ラブ・ひらお定住プロジェクトについて 低硝酸野菜について
	長野県中野市 長野県上高井郡小布施町 長野県北佐久郡立科町	<ul style="list-style-type: none"> 「売れる農業推進室」について 通年議会について 議会改革と「政策立案常任委員会」及び「議会広報常任委員会」について 「立科町移住定住促進事業新築住宅補助金」について 農村振興策及び「蓼科農ん喜（のんき）村クラインガルテン」について
日本共産党 愛川町議員団	第1回地方自治ゼミナール	日本国憲法の地方自治とその実現への道
	議員の学校	貧困・差別の課題と地方自治
新風あいかわ	相模原市	新交通システム計画について
	岡山県新見市 岡山県真庭市 鳥取県日野郡日南町	<ul style="list-style-type: none"> 定住対策について バイオマスタウン構想について デマンド交通について 
	財政基礎講座	よくわかる市町村財政分析
	市町村議会議員特別セミナー	自治体経営の課題

ご覧ください
会議録

議会だよりは、紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。

詳しくは下記の町公共施設に備え付けてある「会議録」をご覧ください。

なお、6月定例会の会議録は、9月中には備え付けができる予定です。

また、町議会のホームページで平成11年以降の会議録がご覧になれます。

次回定例会

次回、9月定例会は下表のとおりです。会議はいつでも午前9時から開会します。また、本定例会の運営を協議する議会運営委員会は、8月22日(火)に開催予定です。

日程が変更になる場合もありますので、詳細は議会事務局にお問い合わせください。町ホームページでもご覧になれます。

平成29年 第3回9月定例会日程 (予定)

月	日	曜	会議名
8	31	木	本会議 (提出議案の説明)
9	4	月	本会議 (一般質問)
	5	火	本会議 (一般質問)
	8	金	本会議 (個人総括質疑・討論・採決)
	12	火	本会議 (会派代表総括質疑)
	15	金	総務建設常任委員会
	19	火	教育民生常任委員会
	20	水	総務建設常任委員会
21	木	教育民生常任委員会	
26	火	本会議 (委員長報告・質疑・討論・採決)	

施設設置

- 役場町政情報コーナー
- 半原出張所
- 中津出張所
- 福祉センター
- 文化会館図書館
- 農村環境改善センター
- 半原公民館
- 中津公民館

議会だよりは、録音ボランティアグループ「かえでの会」のご協力により、視覚障害者用に音声テープ化されています。

ご希望の方は、社会福祉協議会へご連絡ください。
(内線3792)

第3回
議会クイズの
答えと当選者

前回の第3回議会クイズは22名の方から応募がありました。正解と当選者は次のとおりです。

〔正解〕

問1 ③ 静岡県島田市

問2 ② 17日

問3 ③ かえでの会

〔当選者〕

新井 梅代 様

館田 純子 様

脇嶋 真二 様

第4回 議会クイズ

問1 議員提出議案で愛川町議会基本条例の一部改正条例を可決しました。

愛川町議会基本条例の第何条に基づき、検証・見直しをしたものでしょうか。

- ① 第10条 ② 第20条 ③ 第30条

問2 議員の調査研究に必要な経費の一部として交付される政務活動費は、

議員一人あたり月額いくらでしょうか。

- ① 1万円 ② 5万円 ③ 10万円

問3 町議会ホームページからご覧になれる会議録は、何年以降からでしょうか。

- ① 平成元年以降 ② 平成11年以降 ③ 平成21年以降

《応募方法》 町内在住の方で、1人1通に限ります。答え・住所・氏名・年齢・電話番号、また、必ず議会だよりの感想をご記入のうえ、下記あて先のいずれかの方法で応募してください。

《しめきり》 7月31日(月) (郵送の場合は当日消印有効)

《あて先》 ●はがきの場合 〒243-0392 角田251-1 議会事務局

●ファクスの場合 046-286-5021

●電子メールの場合 gikai@town.aikawa.kanagawa.jp

☆正解と当選者は次号で発表します。



あいちゃん
©愛川町

編集後記

6月定例会は、議会の最高規範である「愛川町議会基本条例」の一部改正をするなど、活発な議論が行われました。

5月には6回目となる町民の皆様との意見交換会を行い、貴重なご意見をいただきました。

また、当選者を3名に拡大した議会クイズに、たくさんの方の応募・感想をいただきました。引き続き多くの方からの応募をお待ちしています。

今後も、皆様の声を聞き、より開かれた議会を目指し、議員一同力を尽くしてまいります。

議会だより編集委員会

- 委員長 馬場 司
副委員長 熊坂 崇徳
委員 阿部 隆之
委員 岸上 敦子
委員 鈴木 信一
委員 山中 正樹